

ごあいさつ

日本老年看護学会は、平成27年度で設立から20周年を迎えました。記念の企画として、「老年看護学」第19巻第2号、第20巻第1号・2号の3回にわたって特集を組み、この20年を振り返り、未来を展望する学会内外からのメッセージを掲載しました。本学会の設立に携わった当時の役員の方々の皆さまや関連学会からの叱咤激励に触れ、改めて身の引きしめる思いがいたしました。

加えて本学会は、4月1日より「一般社団法人日本老年看護学会」に移行します。この移行期に合わせて、理事会・総務を中心に、本学会の「立場表明」を検討しております。課題の山積する超高齢社会に向けて私たちの立ち位置を表明することも本学会の役割と捉え、社会的責務を果たしつつ、今まで以上に会員の皆さまの実践・教育・研究に資する活動を推進していきたいと考えています。

日本老年看護学会 理事長 堀内ふき

4月1日より一般社団法人に移行します

平成27年6月14日（日）に開催された学会総会にてご承認いただいた法人化について、10月6日、無事に「一般社団法人日本老年看護学会」の登記を完了しました。正式な移行は平成28年4月1日となります。

法人への移行に伴い、例年、学術集会に合わせて開催している「総会」は平成28年度から「会員総会」となり、「社員総会」（現会則での評議員会）での審議事項を報告する場となります。そのため、来年度より総会の出欠席を把握する案内のハガキを送付しませんが、第21回学術集会第2日目の7月24日（日）9時から「会員総会」を予定しております。例年どおり、この場で名誉会員証授与、論文表彰なども行われますので、ぜひご参加ください。

役員選挙

今年度は、平成28年度の総会から任期となる役員の選挙を行いました。下記のとおり全ての選挙が無事、終えました。投票にご協力いただき、ありがとうございました。

なお、法人化に伴い、社員総会の議を経るまでは「候補者」として表記します。

■評議員選挙結果■

投票期間：2015年10月1日～15日

開票日：2015年10月20日

投票率：26.5%

評議員候補者92名を選出

■理事・監事選挙結果■（選挙人・被選挙人ともに評議員候補者）

投票期間：2015年12月1日～15日

開票日：2015年12月18日

投票率：92.45%

理事候補者13名、監事候補者2名を選出

日本老年看護学会第21回学術集会ご案内

■テーマ

死を見据えたケア～高齢者本人とケアチームによるケアの創造と統合へ～

■会期 2016年7月23日（土）～24日（日）

■会場 大宮ソニックシティ

（さいたま市大宮区桜木町1-7-5）

■学術集会長 桑田美代子（青梅慶友病院／よみうりランド慶友病院）

■参加費

会員 事前8,000円、当日10,000円

非会員 事前10,000円、当日12,000円

■プログラム（抜粋）

第1日：7月23日（土）

[大ホール]

13:10～14:00 会長講演：死を見据えたケア～高齢者本人とケアチームによるケアの創造と統合へ～
講演者 桑田美代子

14:10～15:40 シンポジウム1：急性期病院における高齢者の死を見据えた看護

15:10～17:20 シンポジウム 2:さまざまな高齢者の
看取りの場における多職種連携～マ
ネジメントの実際と看護の役割～

[国際会議場]

9:20～10:40 教育講演1:実践現場の倫理調整 (仮)
講演者 吉岡佐知子(松江市立病院)

10:50～11:35 教育講演2:当事者になり気づくこと
講演者 鈴木真理子(愛全病院)

第2日:7月24日(日)

[大ホール]

10:00～11:10 特別講演:超高齢社会を生きる日本
人の死生観を活かす(仮)
講演者 カール・ベッカー(京都大学)

12:40～14:10 教育講演3:最後までその人であることへ
の支援～緩和ケアからエンド・オブ・ライ
フケアへ～
講演者 田村恵子(京都大学)

14:20～15:40 市民公開講座:認知症患者の理解～私
たちは観察する・患者は体験する～
講演者 齋藤正彦(東京都立松沢病院)

[小ホール]

12:40～14:10 シンポジウム 3:地域における看取
りの文化作り

[国際会議場]

14:10～15:30 教育講演4:死にゆく人から学ぶ～看取
りの『時期の見立て』と『コンセンサ
ス形成』～(仮)

講演者 川上嘉明(東京有明医療大学)

■事前参加登録は6月1日までです。皆さまのご参
加をお待ちしています。

老年看護政策検討委員会からの報告

2016年1月27日に開催された中央社会保険医療
協議会において、平成28年度診療報酬改定で「身
体疾患を有する認知症患者のケアに関する評価」が
新設されることになりました。

これは身体疾患のために入院した認知症高齢者
に対する対応力とケアの質の向上を図るため、病棟
での取り組みや多職種チームによる介入が評価され
るものです。算定可能な病棟は、一般病棟・療養病棟・
結核病棟・特定機能病院(精神病棟を除く)・専門病
院・障害者施設等入院基本料、救命救急入院料、特
定集中治療室管理料、ハイケアユニット・脳卒中ケ
アユニット・特殊疾患入院医療管理料、回復期リハ

ビリテーション・地域包括ケア・特殊疾患・特定一
般病棟入院料を算定している医療機関です。対象患
者は、「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」ラ
ンクⅢ以上に該当する者です。ただし、身体的拘束
を行った日は、減算されます。また、看護計画の作
成は不可欠です。「認知症ケア加算1」150点(14
日まで)、「認知症ケア加算2」30点(14日まで)
となりました。詳細の内容は、厚労省HPより中央
社会保険協議会総会(第328回)資料p.206～208
をご覧ください。

今回、看護系学会等社会保険連合から45項目の
提案がなされ、そのうち3項目が診療報酬化され、
その中の1項目が当学会からの提案でした。当学会
からの基礎資料となる情報提供にご協力くださった
会員、ならびに老人看護専門看護師、認知症看護認
定看護師の方々に感謝申し上げます。

なお、多職種チームを作り、手順書を作成するこ
と、また研修を受けた看護師を複数配置するなど、
加算取得の準備をお願いいたします。

学会誌・投稿締切のお知らせ

投稿原稿は随時、受け付けておりますが、今後の
掲載号に対応した締切は下記のとおりです。

第21巻第2号(平成29年1月発行予定)

締切 平成28年7月31日

第22巻第1号(平成29年7月発行予定)

締切 平成28年11月30日

事務センターからのお知らせ

【メールマガジン用メールアドレス登録のお願い】

本学会では、会員の皆さまへメールマガジンを配信して
います。理事会、各委員会からの報告、学術集会や研修事
業、ワークショップ等のご案内、他団体からの情報等を1
ヶ月に1度程度、お届けしています。現在の加入率は
82.5%です。配信を希望する方は、下記事務センターまで
メールにてご連絡ください。

【編集】総務(広報)担当理事:北川公子

【発行】日本老年看護学会事務センター

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-1-1 オザワビル2F

TEL:03-5206-7431 FAX:03-5206-7757

E-mail:rounenkango@nqfm.ftbb.net

URL:<http://www.rounenkango.com/>